

525. Le Principe du maximum = 就イテ

南 右 内 (札幌一中)

定義 函数 $f(z)$ を任意ノ領域 D = 於テ定義セラレタ函数
トシ, D ノ縁ノ点 ζ 及 $\subset D$ 内ヨリ ζ = 收斂スル点列 $\{z_n\}$
ヲ取り

$$\lim_{n \rightarrow \infty} f(z_n) \quad \left(\lim_{n \rightarrow \infty} z_n = \zeta, z_n \in D \right)$$

ヲ考ヘル。点列 $\{z_n\}$ ヲ種々 = 変化シテ得ル上ノ極限
値 (存在スルモノダケヲ考ヘ) ノ集合ヲ $C(\zeta)$ ト表ハシ,
コレヲ ζ = 對スル Cluster set ト稱ス。

集合 B = 對シ B ヲ analytic curve Γ = テ包ミ,
ソレ = 含マレル点集合ヲ $A_\Gamma(B)$ ト表ハス。

定理. $f(z)$ ハ次ノ性質ヲ有ス。

1° $f(z)$ ハ任意ノ領域 D = 於テ正則デアアル。

2° $f(z)$ ハ D ノ縁ノ近傍ヲハ有界デアアル。

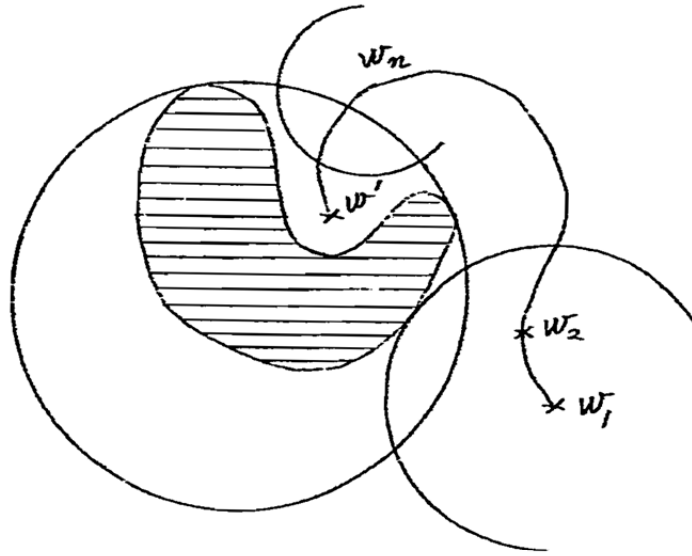
然ルトキハ D ノ各点 = 對シテ

$$f(z) \in A_\Gamma(\sum' C(\zeta))$$

若シ D ノ一点ヲ $f(z) \in \Gamma$ ナラバ $f(z)$ ハ帯数デアアル。
但シ \sum' ハ D ノ縁カク有限個ノ点ヲ除ク点 = 関スル和ヲ表
ハス。

証明.

1. D が有界ナル場合



先ヅ $f(z)$ は D で有界ナル、故ニ定数 M が存在シテ
 D の各点ニ對シテ $|f(z)| \leq M$ が成立スル。

今若シ D ノ一 点 z' ニ對シテ

$$w' = f(z') \in A_r(\Sigma' C(\zeta))$$

トセヨ。

然ルトキハ w -plane = 於テ原点ヲ中心、半径 M ノ円
ヲ $K(0, M)$ ト表ハセバ $K(0, M)$ ノ外ノ一 点 w_1 ト w' ト
ハ $A_r(\Sigma' C(\zeta))$ ト共有点ヲモタナイ。Jordan curve (長
サノ有限ナル) デ結ブコトが出来ル。

$$\rho(w_1, K(0, M)) = \rho_1'$$

$$\rho(w_1, A_r(\Sigma' C(\zeta))) = \rho_1$$

トシテ $W = F(w) = \frac{1}{w - w_1}$ ナル変換ヲ施ス、然ラバ $F\{f(z)\}$
ナル函数ハ D ノ各点ヲ定義セラレ

1° $F\{f(z)\}$ ハ D で正則

2° D ノ縁ヲ z_1, z_2, \dots, z_n ヲ除キテ ζ ヲトレバ D

内ヨリ $\zeta =$ 収斂スル点列 $\{z'_n\} =$ 對シテ

$$\overline{\lim}_{n \rightarrow \infty} |F\{f(z'_n)\}| \leq \frac{1}{\rho_1} \quad (\lim_{n \rightarrow \infty} z'_n = \zeta, z'_n \in D)$$

3° z_1, z_2, \dots, z_n の近傍にハ有界。

$$|F\{f(z)\}| \leq \frac{1}{\rho_1}$$

従って良ク知ラレタル Lindelöf の maximum principle
= 依リ D の凡テノ点ヲ

$$|F\{f(z)\}| \leq \frac{1}{\rho_1}$$

即チ $|f(z) - w_1| \geq \rho_1$

故ニ $f(z)$ ハ w_1 ヲ中心トシテ ρ_1 ヲ半径トスル円ノ内部ニハ
入ラナイ。

次ニ $K(w_1, \frac{\rho_1}{2})$ ト J トノ交点ノ内 w_1 カラ一番遠
キモノヲ w_2 トスル。

$$\rho(w_2, A_r(\Sigma' C(\zeta))) = \rho_2$$

トヲキ $F_1\{f(z)\} = \frac{1}{f(z) - w_2}$ ナル函数ニ付テ前ニ様ノ原

理ニヨリ D ノ凡テノ点ニ對シ

$$|f(z) - w_2| \geq \rho_2$$

ガ成立スル。即チ $f(z)$ ハ $K(w_2, \rho_2)$ ノ外ニアル。

以下同様ニシテ順次 $w_3, w_4, \dots, w_n, \dots$ ヲ求メ
テ行ク。然レトキハ $J =$ 沿フテノ w_i, w_i' ノ距離ヲ ρ トスレバ
 w_i ハ $K(w_1, \rho_1), K(w_2, \rho_2), \dots, K(w_n, \rho_n)$ ノ
外ニアルカラ

$$\rho \geq \overline{w_1 w_2} + \overline{w_2 w_3} + \dots + \overline{w_{n-1} w_n} = \frac{1}{2}(\rho_1 + \rho_2 + \dots + \rho_{n-1})$$

然レ $\nu = \bigcup A_P(\Sigma' C(\zeta))$ トノ 最小距離ヲ δ トスレバ

$$\rho_1 + \rho_2 + \dots + \rho_{n-1} \geq (n-1)\delta$$

$$\therefore \rho \geq \frac{n-1}{2}\delta$$

D ノ 凡テノ 点ニ 對シ $f(\alpha)$ ハ

$$K(w_1, \rho_1), K(w_2, \rho_2), \dots, K(w_n, \rho_n), \dots$$

ノ 外ニ アル、即チ w' ハ $K(w_n, \rho_n)$ ($n=1, 2, \dots, n, \dots$)

ノ 外ニ アル。

即チ ν トハ 無關係ニ $\rho \geq \frac{n-1}{2}\delta$ ナケレバ ナラナイ、之レハ 矛盾ナリ。

從ツテ D ノ 凡テノ 点ヲ $f(\alpha) \in A_P(\Sigma' C(\zeta))$ ガ 成立スル。

次ニ D ノ 内点ニ 於テ $w' = f(\alpha') \in \Gamma$ ノ 場合ヲ 考ヘ
ル、コノトキ若シモ $f(\alpha)$ ガ 常數ナケレバ $w = f(\alpha)$ ハ
 D ナ 正則ナル故、 w 点 w_1 ノ 適當ニ 近傍 $\nabla(w_1)$ ヲ 作り、ソ
コニ w' 点ヲ トレバ

$$w' = f(\alpha')$$

ヲ 満足スル α' ハ α_1 ノ 近傍、即チ D 内ニ 存在スルヤウニ
出來ル。

然レ $w_1 \in \Gamma$ ナル故 $\nabla(w_1) \cap A_P(\Sigma' C(\zeta)) = \emptyset$ ナ
ラナイ点ヲ 含ム。

今ソレヲ w' トスレバ $w' = f(\alpha')$ ナル α' ハ D 内ニ
アルカラ D 内ノ 一点 α' ニ 對シ、ソレニ 對應スル w' ハ
 $A_P(\Sigma' C(\zeta))$ ノ 外ニ アルコトニ ナル、之レハ 上ノ 証明ニ
ヨリ D ノ 凡テノ 点ヲ $f(\alpha) \in A_P(\Sigma' C(\zeta))$ ナリトノコト

ニ矛盾スル。

2. D が有界デナイ場合

(A) $R-D$ が内点ヲ有スルトキ

内点ノ一ツヲ a トスレバ $Z = \frac{1}{z-a}$ ナル変換ヲ施セバ D ハ有界ナ領域 Ω トナル。

函数 $f\left(\frac{1+Za}{Z}\right)$ ヲ $\Omega = \Omega'$ 於イテ考フレバ上ト同様ノコト可言ヘル。

(B) $R-D$ が内点ヲ有セザルトキ

D ヨリ一ツノ円 (ソノ周ヲ S トス) ヲ除キタル領域ヲ D' トス。

然ラバ $D' = \Omega'$ 於テハ (A) ノ場合トナルカテ D' ノ凡テノ点ヲ

$$f(z) \in A\left(\sum' C(\zeta) + \sum_{\zeta \in S} C(\zeta)\right)$$

次ニ用 S 内デハ

$$f(z) \in A\left(\sum_{\zeta \in S} C(\zeta)\right)$$

従ツテ D ノ凡テノ点ヲ

$$f(z) \in A\left(\sum' C(\zeta) + \sum_{\zeta \in S} C(\zeta)\right) \text{----- (1)}$$

然ルニ $\sum_{\zeta \in S} C(\zeta) \subset \sum' C(\zeta)$ が成立スル、何トナレハ若シ然ラズトセバ一ノ点 ζ アリテ $C(\zeta) \notin \sum' C(\zeta)$ ナラザルベカラズ、

然ルニ $\zeta = a$ 於テハ $f(z)$ ハ正則ナル故

$$C(\zeta) = f(\zeta)$$

$f(\zeta)$ ノ十分近傍ヲトレバ ζ ノ近傍ヲノ $f(z)$ ノ値域ヲ被ハレル。然ルニ $f(\zeta)$ ノ如何ナル近傍 $\in A\left(\sum' C(\zeta) + \sum_{\zeta \in S} C(\zeta)\right)$

ニハナイ点ヲ念ム。

之レハ(1)ト矛盾スル。

従ツテ $\sum_{\xi \in S} C(\xi) \subset \Sigma' C(\xi)$ デアル。

故ニ D ノ凡テノ点ヲ

$$f(z) \in A_{\Gamma}(\Sigma' C(\xi))$$

以上ヲ証明ガ終了シタノデアリマスガ

Riemannノ寫像定理ヲ用ヒテ Γ ノ内部ヲ單位円ノ内部ニ一對一写像ニ寫像シ、單位円ニ於テ前ノ Lindelöfノ principle ヲ用ヒ、然ル後 Γ ノアノ平面ニ逆寫像ヲ行ハベ証明出來ルヤウニ思ハレルガソレハ出來ナイ。何トナレバ Γ ノ外ノ点ヲモ考ヘネバナラナイカラ。

一類ニ「原点ヲ中心トスル円ノ内ニ正則ナル Γ ノ内ニ $f(z) \in \Sigma' C(\xi)$ ナル analytic curve Γ ヲ考ヘ、 Γ ノ内部ヲ單位円ノ内部ニ一對一写像ニ寫像スル函数ハ存在シナイ。」

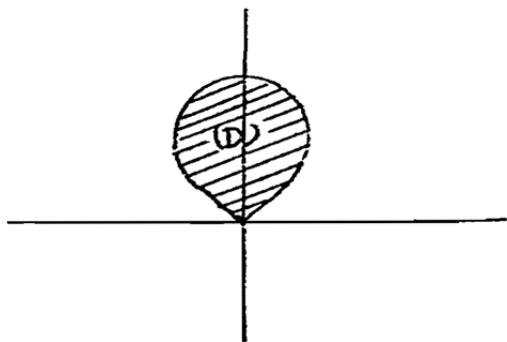
コトガ証明サレル。

次ニ上ノ定理ニ於テ最後ノ $f(z) \in \Gamma$ ヲ $f(z) \in \Sigma' C(\xi)$ トシタイノデアアルガ、ソレガ不可能デアアルコトハ次ノ例ヨリ明ラカデアアル。

$f(z) = e^{\frac{1}{z}}$ トシ、 D トシテ原点ヲ縁ニ含ミ、 y 軸上ノ

点ヲ内点トシテ含ミ且ツ D 内ニ $f(z)$ が有界デアアル如キ領域 D ヲトル。

ソレニハ $z = re^{i\theta}$ トシテ D 内ニ $\frac{1}{r} \cos \theta \leq M$ (M ハ常



数)が成スル如クスレバトカデアロ。

然ルトキハ

1° $f(z)$ ハ D ヲ正則ナリ。

2° D ノ縁ノ近傍ヲハ有界。

デアロガ D ノ一ツノ点 z_0 ニ對シテ $f(z) \in C(0)$ ナル如キ z_0 ガ存在ス。ソレハ

$$z_1 = \frac{1}{\theta} e^{i\frac{\pi}{2}}, \quad z_2 = \frac{1}{\theta+2\pi} e^{i\frac{\pi}{2}}, \quad \dots\dots\dots$$
$$\dots\dots\dots, z_n = \frac{1}{\theta+2n\pi} e^{i\frac{\pi}{2}}, \quad \dots\dots\dots$$

トスレバ

$$f(z_1) = e^{\frac{1}{z_1}} = e^{i\theta}, \quad \dots\dots\dots, f(z_n) = e^{\frac{1}{z_n}} = e^{i(\theta+2n\pi)}$$
$$= e^{i\theta}$$

∴ 斯様ナ点列 $\{z_n\}$ ニ對シテ

$$\lim_{n \rightarrow \infty} f(z_n) = e^{i\theta}$$

故ニ $e^{i\theta}$ ハ $C(0)$ ノ一ツノ点ナリ。

即チ z_0 ハ一ツノ内点ガ

$$f(z_0) = e^{i\theta} \in C(0)$$

ナレドモ $f(z)$ ハ常數デアハナイ。